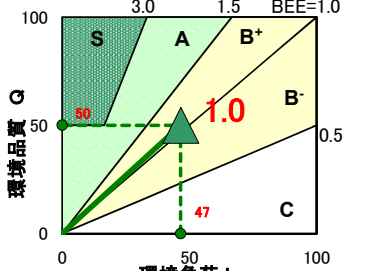
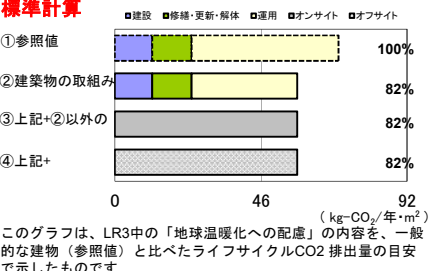
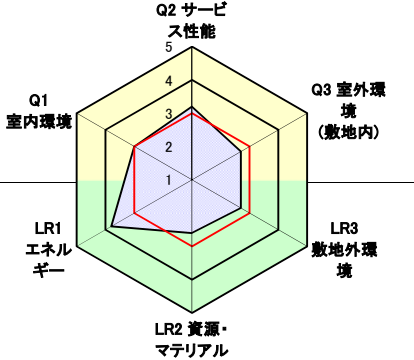
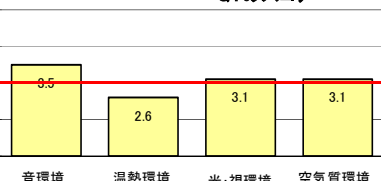
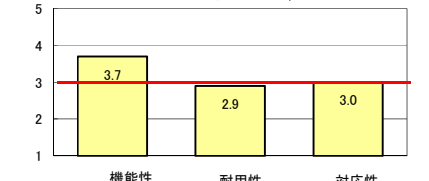
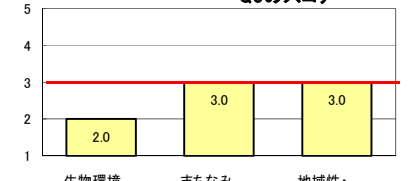
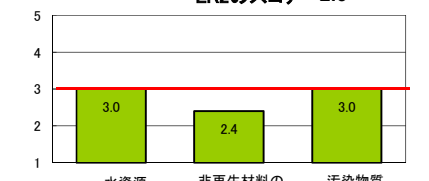
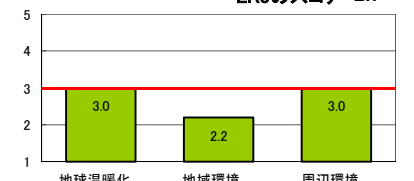


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	東洋食品工業短期大学 学舎整備	階数	地上4F		
建設地	兵庫県川西市	構造	RC造		
用途地域	法第22条区域、第一種高度地区	平均居住人員	150 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900 時間/年(想定値)		
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年4月26日		
敷地面積	10,142 m ²	作成者	千葉		
建築面積	1,503 m ²	確認日	2024年4月26日		
延床面積	4,977 m ²	確認者	#REF!		
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 		標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ 			
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 3.0			
Q 環境品質					
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0 		Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2 		Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.7 	
LR 環境負荷低減性		LR のスコア = 3.1			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8 		LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6 		LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7 	
3 設計上の配慮事項					
総合 「既存校舎との調和」+「機能性」+「安心感」+ α = 新しい大学の顔として、魅力を発信する。			その他 0		
Q1 室内環境 大学の講義・実習の用途に合わせた機能的で快適な室内環境とする。			Q2 サービス性能 メンテナンス性に優れ、使いやすい建物とする。		
LR1 エネルギー 用途に合わせ適切な計画とする。			LR2 資源・マテリアル 用途に合わせ適切な計画とする。		
			Q3 室外環境 (敷地内) 既存建物との調和しながら、機能的な配置計画・外構計画とする。		
			LR3 敷地外環境 校庭は芝生貼りとし、敷地外環境にも配慮する。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される